

東日本大震災 沖縄民医連 支援ニュース

第12号 2011年3月31日(木) 電話:098-833-3397

第4陣:29日の報告

避難所まわり、診療所泊まりこみ・・・



<第4陣:事務局長 平良顕治さんより>

昨日、今日、比嘉千明先生は避難所まわり、室岡さんは宮城野の診療所へ泊まり込みで応援です。
玉城和美さんは坂総合病院で内勤をしています。
行徳さんは避難所まわりです。平良は避難所まわりの事務局を手伝っています。みんな元気です。

<沖縄民救隊ブログ-第3陣:犬尾仁医師(中協)の報告>より

この時期はメンタル面でのケアが必要となって来る時期です。避難所では PTSD を疑う子供たちが出てきていました。夜中に急に泣き叫んだり、おねしょをするようになったり、急に怯えだしたり・・・など。今回大阪から駆けつけてくださった小児精神科医の中川先生に避難所回診をしていただきました。先生はいきなりバルーンアートでブードルを創りだすと、避難所の子ども達はもう釘付け！子供たちの大きな歓声で避難所は明るく沸き立ちました。

中川先生によれば、そういった反応はこのような震災の後ではある意味正常な反応であるということでした。逆に無反応の場合、ストレスを溜め込んでいる可能性があるそうです。なるべく日中楽しく過ごさせてやるのがいいとのこと、中川先生の来訪は治療を兼ねています！

「民医連支援隊の JMAT 登録」- 県医師会から OK の回答

29日、仲程沖協院長、県連の内間事務局長、上原次長らが、大震災救援のとりくみで県医師会と懇談し、日本医師会災害医療チーム(JMAT)派遣に民医連の支援団も登録させていただきたいと、要請していたことについて、対応された渡嘉敷課長から昨日電話があり、「会長、副会長からも OK がありましたので、積極的にすすめてください」との回答がありました。

JMAT に登録することで、補償体制が確立されるだけでなく、ANA、JALのご協力で航空機の利用が無料となる措置があり、長期の支援体制がいつそう強化されます。支援も派遣元の医師会の指示系統に入らなければならないという縛りがなく、これまで通り、民医連としての支援行動となります。

4月からの支援計画は、全日本民医連臨時理事会(4/2)で確認されます

4月からの全国支援は、「坂総合病院」「松島海岸通診療所」「長町病院」を3力所を拠点とする支援になり、地協単位の計画となります。詳細の計画は4/2の臨時理事会で決定されますが、九沖地協は引き続き坂総合病院となります。

第5陣支援団派遣(予定)⇒4/10(日)~16(土)で準備します